

黒部市立桜井小学校 学校だより

令和2年6月5日



# 桜井



〒938-0037 黒部市新牧野11番地2

TEL 54-0130

FAX 54-0129

子供たちが笑顔で学校生活を送ることができるように

生徒指導主事 伊東 啓一

3月～5月は休校期間が長く続き、日本中がかつて経験したことのない特殊な状況の日々を過ごすこととなりました。子供たちも、休校期間中は多くのことを我慢する状態が続き、様々なストレスを感じながら過ごしていたことと想像いたします。

6月1日から、学校では通常授業を再開しました。このような時期だからこそ、安全面・衛生面での管理に努めていくと同時に、子供たちの表情や行動をよく見て、子供たちの言葉に耳を傾けて、子供たちが思っていること・感じていることに共感していくことが大切になります。そして、一人一人の内面の理解にもいつも以上に努めていくことが重要であると考えます。

6月、11月、2月には1週間の「ふれあい週間」を設定し、生活アンケートと子供たち一人一人とじっくり話をする機会を設定します。これらの取組を通して、子供たち一人一人の学校での過ごし方の状況の把握と内面の理解（学校生活を楽しんでいるか、心配なこと・困ったことはないか等）を深めていくようにします。特に、この6月の「ふれあい週間」では、休校、分散登校、通常授業再開等の大きな生活の変化、環境の変化等がありました。子供たち一人一人と丁寧に向き合い、じっくり話をするよう努めていきたいと思えます。ただ、特殊な状況が長く続いたため、私たちが想定していないような心の変化や問題等を抱えている可能性もあります。より正確な状況把握のためにも、気になることや心配なこと、お子さんが学校では言いにくいと感じていること等ありましたら、どうぞ遠慮なくご連絡ください。

また、学校では、子供たち相互が好ましい人間関係を築き、楽しく過ごすことができるよう、「いじめ見逃しゼロ」を目指した取組を進めていきます。

「ふれあい週間」を行う月以外は、年間を通して毎月15日に「いじめに関わるアンケート」を実施し、実施日から間を空けないように児童全員と面談を行っています。アンケートでは、「友達にいじわるや嫌なことをされたか・したか」等やその頻度について尋ねます。そして、そのアンケートを基に、いじめ等の状況を把握し、面談の際に参考としています。（「いじめ見逃しゼロ」の取組は黒部市の小中学校全体で統一して取り組んでいます。）

以上のような取組も含め、子供たちが笑顔で学校生活を送ることができるよう、「心」のサインや小さな変化を見逃さないよう見守っていきます。今後も、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## 自転車交通安全教室（3～6年）・自転車実技講習（3年）を予定しています

3～6年生を対象とした自転車交通安全教室を6月12日（金）に行います。黒部警察署の方々から安全な自転車の乗り方と自転車乗車時の交通ルールについて教えていただくことになっています。お子さんがルールを守り、安全に運転しているか、家庭でも時々、自転車に乗っている様子を見ていただくとありがたいです。

安全教室の後、3年生は、グラウンドで自転車の乗り方の実技講習を受ける予定です。3年生は、6月8日（月）より、1週間グラウンドで、道路の左側をふらつかずに乗れるか、交差点での二段階右折のし方、踏切の渡り方等の練習をすることになっています。

## 学習参観を午前と午後に分けました

新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるために3年生と5年生は、午前中に学習参観と学年・学級懇談会を、1年生、2年生、4年生、6年生は、午後に学習参観と学年・学級懇談会を行います。そのため、保護者の入り口も、学年によって児童玄関とランチルーム側の玄関に分けることにしました。ご理解とご協力をお願いいたします。



### 保護者の皆様へのお願い

◆大切な用件につきましては、連絡帳でお知らせしてください。お手数ですが、よろしく願いいたします。

◆学校への登校時刻については、分散登校の影響もあり、7時35分より早く登校する姿が見られます。早くても7時35分ごろに着くようにご協力をお願いします。

## 6. 7月の行事予定

### <6月>

- 8日（月）3年生自転車練習～12日
- 12日（金）自転車交通安全教室（3～6年生）
- 15日（月）ふれあい週間～19日  
人間関係アンケート
- 25日（木）シェイクアウト訓練
- 29日（月）委員会活動

### <7月>

- 2日（木）学習参観・学年・学級懇談会  
学校評議員会

夏休み 8月1日～8月23日

※行事は、状況の変化により変更の場合があります。

## 子供たちへの応援エール

通常登校となり、普段の学校生活をとりもどしつつあります。子供たちへの応援エールを児童玄関に掲げました。

